

2018年
3月1日号
Vol.1

みんなで作る 未来の場 かたち

ぶらっと

公共施設マネジメントに関する詳しい情報はこちら(町田市ホームページ)をご覧ください。



発行:町田市 編集:政策経営部企画政策課
〒194-8520 東京都町田市森野2-2-22
TEL 042-724-2103 FAX 050-3085-3082
ホームページ <http://www.city.machida.tokyo.jp>

「ぶらっと」には、ぶらっと誰でも気軽に立ち寄れるという意味と、みんなが集い交流するプラットフォームという意味を込めました。本紙は不定期発行です。



公共施設・公共空間のより良いかたちを
みんなのちからを合わせて
実現していきましょう

町田市は将来を見据えた公共施設の再編に取り組んでいます。

1960年代後半から80年代前半、高度経済成長期の急激な人口増加や社会環境変化に対応するため、学校を中心に建設されたたくさんの公共施設。皆さんの生活を豊かにする場として暮らしを支えてきました。

それから半世紀近くが経ち、人口減少や高齢化の進行など、わたしたちを取り巻く環境は大きく変わりつつあります。新たな時代を迎えている今、わたしたちは「これから」のあり方を考えなければならない転換期にあります。

多くの公共施設は老朽化し建替え時期が迫っていますが、すべてを残していくことはできません。そのような状況においても、必要なサービスや機能を維持するため、町田市では再編に取り組んでいます。

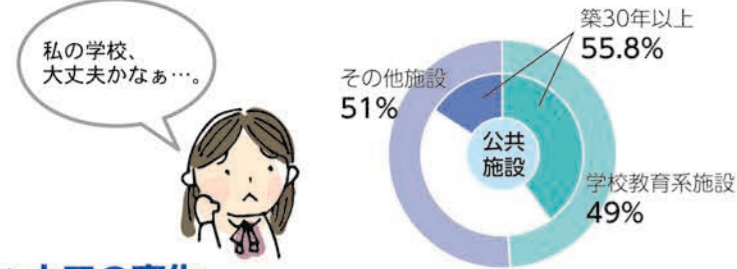
公共施設・公共空間のより良いかたちの実現は行政だけではできません。地域の魅力につながる新しい公共空間をみんなで考え、みんなで実現していきましょう。



町田市の現状

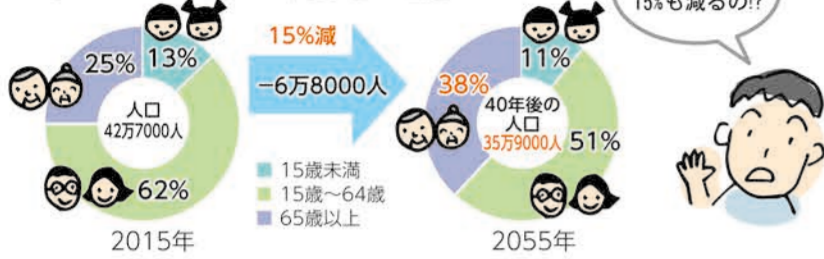
▲老朽化が進む公共施設

築30年以上経過した公共施設は55.8%。その多くは学校です。



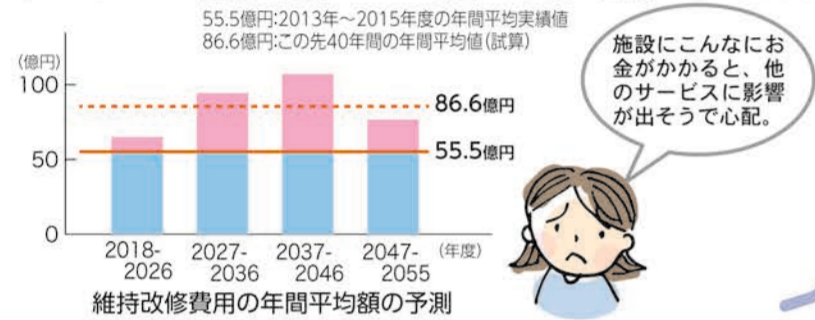
▲人口の変化

40年後の町田市の人口は15%減少します。構成も大きな変化が見込まれ、働く世代や子どもたちが減少し、高齢者が増加します。



▲莫大な維持改修費用

施設の老朽化が進むと、施設の改修や建替えが必要になります。今あるすべての施設を維持していく場合は、多額の費用がかかります。



町田市も深刻だな...

財政状況が一層厳しくなり、今あるすべての建物を維持していくことはできない。

これらを踏まえ、2016年に公共施設を計画的に維持管理するための方針を示す「町田市公共施設等総合管理計画(基本計画)」を策定しました。

現在、基本計画に基づき、再編に向けた取り組みを進めています。

「町田市公共施設再編計画」とは

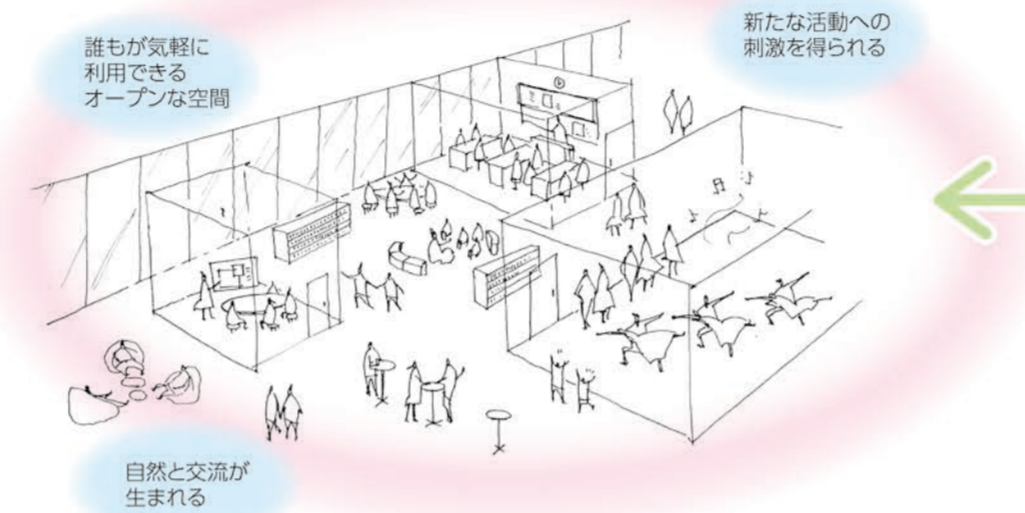
「町田市公共施設再編計画」とは、「町田市公共施設等総合管理計画(基本計画)」に定める基本方針等に基づき、推進する取り組みを定める計画で、2018年6月の策定に向けて検討を進めています。

町田市が進める再編は、単に施設を減らしコストダウンを図るのではなく、「公共施設・公共空間のより良いかたち」を実現させていくことを目指しています。

「町田市公共施設再編計画」には施設再編における基本的な考え方をはじめとし、施設機能毎の今後の方向性(2018年度～2055年度)や短期9年間(2018年度～2026年度)に取り組む内容等をまとめる予定です。

●より良いかたちって?

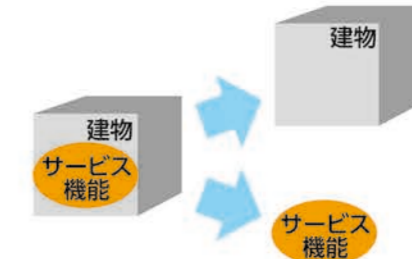
施設の機能等によって「より良いかたち」のイメージはそれぞれ異なるものですが、共通しているのは時代のニーズに対応したかたちであること。昨年実施した市民アンケートでは、気軽に立ち寄れることやみんなが利用できることが支持される傾向にありました。



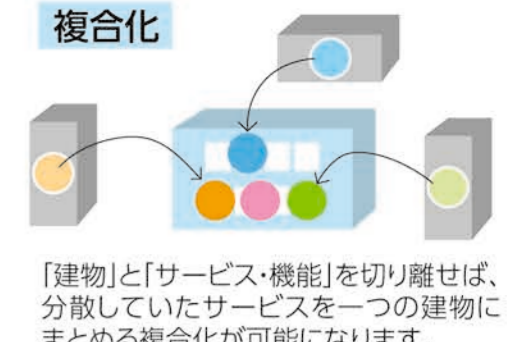
●再編の基本的な考え方とは?

公共施設の再編においては以下の3つの考え方をおさえる必要があります。

- ①「建物」と「サービス・機能」を切り離して考える
- ②どのような「建物」を維持すべきなのか考える
- ③「サービス・機能」も見直しを図る



複合化



「建物」と「サービス・機能」を切り離せば、分散していたサービスを一つの建物にまとめる複合化が可能になります。

●再編の推進におけるポイントとは?

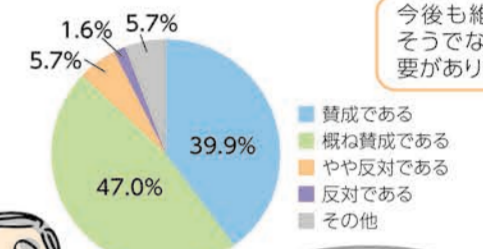
より良いかたちを行政だけで実現していくことはできません。公共施設の再編は、将来を見据えて公共サービスを提供していく仕組みを再構築する取り組みでもあり、これまで以上に市民の皆さんや民間事業者のアイデアや工夫、協力が求められます。公共施設の再編を将来につながる新たなかたちに変えるチャンスと捉え、今できることをみんなで考えて実行しながら、より良いかたちを実現していきましょう。

公共施設に関する市民アンケートより

(設問A) 公共施設の「より良いかたち」を作っていくにあたって、あなたが特に重要だと思う要素は何ですか? (選択式・複数回答可)

回答上位5つ	回答割合
1 気軽に立ち寄れる	45.2%
2 多様性・柔軟性がある	38.3%
3 多目的利用できる	37.4%
4 身近である	36.1%
5 多世代が集える	32.5%

(設問B) さまざまなサービスや活動の拠点とするにふさわしい建物を優先的に維持・保全していくことについてどうお考えですか?



今後も維持していく建物かそうでないかを検討する必要があります。

昨年はこの他にも、「町田市公共施設再編計画」の策定に向けた計画策定検討委員会の開催や、市民意見募集の実施、市民説明会なども実施しました。

※2017年度実施 3,000人(無作為抽出)

施設機能毎の今後の方向性と取り組み(案)

再編の考え方に基づいて、現在市が所有する公共施設を施設で提供されるサービス機能毎に26分類し、施設機能毎の今後のあり方について方向性や取り組みをまとめました。ここでは、そのうちの4機能を紹介します。



詳細は町田市ホームページに掲載していきますので是非ご覧ください!

庁舎・窓口施設

再編後のイメージ例

- マイナンバー制度の進展やコンビニエンスストアでの証明書発行機能の拡大により、行政窓口へ出向くことが少なくなり、より簡単に身近な場所でサービスを受けられるようになります。



今後の方向性

集約化により建物の総量を圧縮する一方で、維持する建物については、複合化・多機能化や長寿命化により地域拠点としての機能強化を図る。

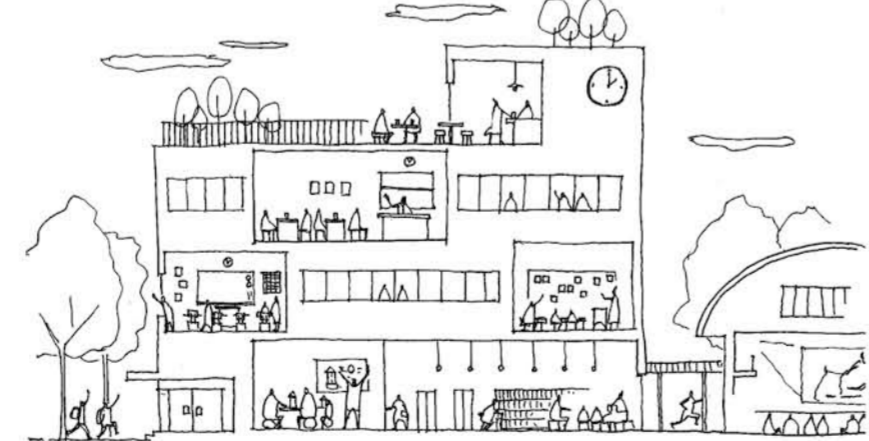
2018年度～2026年度の取り組み

- 行政窓口の担うべき機能(サービス)と提供のあり方を検討し、市民センター、連絡所の機能再配置案を策定する。
- 効率的・効果的な管理運営手法を検討し実施する。
- 市庁舎内のスペースは効率的な運用方法や、歳入確保等の新たな有効活用策を検討する。

学校

再編後のイメージ例

- 適正な学校規模を維持するとともに、地域の拠点となることで、多世代で多様な人々の交流や公益的なサービスが展開される場になります。



今後の方向性

適正な維持・管理のための長寿命化や計画的な建替えを実施する。また、良好な学習環境で学べるよう、適正規模・適正配置を実施する。また、施設の有効活用や複合化・多機能化等により、愛着ある地域拠点施設とする。

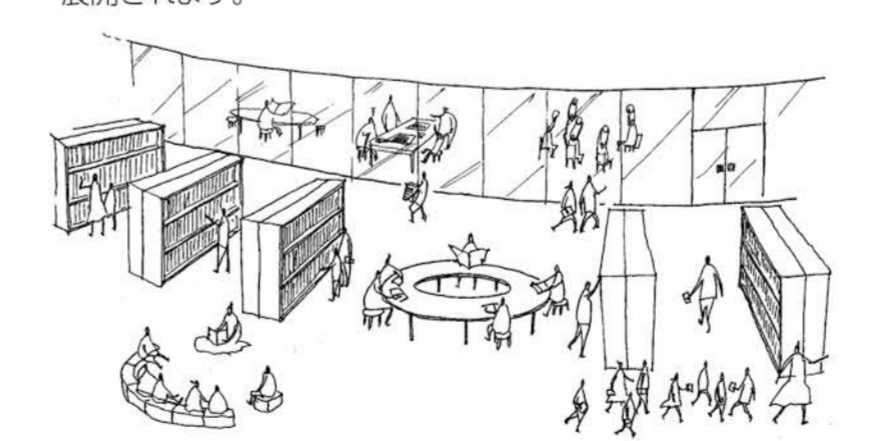
2018年度～2026年度の取り組み

- 適正規模・適正配置案を検討・策定する。
- 他の公共施設との複合化案を検討・策定する。
- プール等の付帯施設についても民間施設の活用や複数校での共用等について検討する。

図書館

再編後のイメージ例

- 他の施設へ複合化することで、より多くの人々が図書に触れる機会を創出します。
- 他の機能と連携することで、図書に関連した新たなサービスが展開されます。



今後の方向性

集約化や複合化・多機能化により建物の総量を圧縮しつつ、地域の活動拠点に機能を移転することで、図書に触れる機会や交流の機会を増やす。また、市民等の活力を活かした新たなサービスにより図書に親しむ機会や場の充足を目指す。

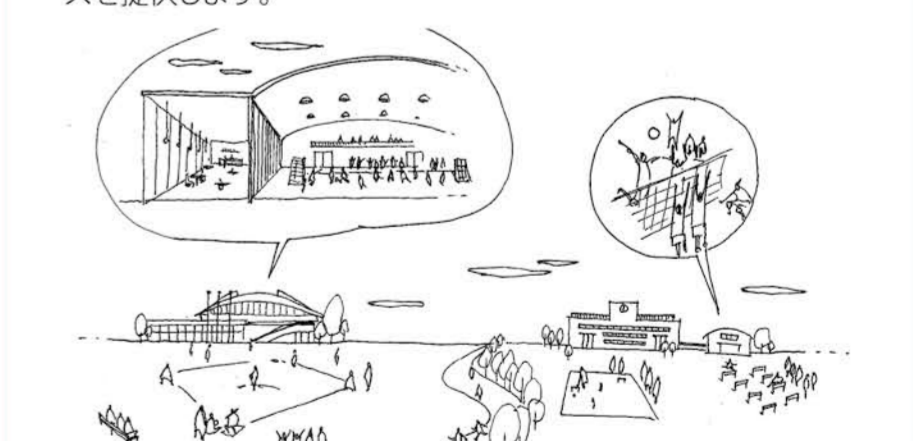
2018年度～2026年度の取り組み

- 市民アンケートの結果や市民からのご意見等を踏まえ、見直し策(施設再編案)を検討し実行する。

スポーツ施設

再編後のイメージ例

- 地域でのスポーツ活動が盛んになることで、より多くの人々がスポーツに触れる機会が増えます。
- より経営的な管理運営を行うと同時に、より魅力的な付加サービスを提供します。



今後の方向性

集約化や市有財産等の活用により建物の総量を圧縮しつつスポーツ活動の場や機会を確保し、民間ノウハウを効果的に取り入れることでさらなる運営の効率化や魅力向上を図る。

2018年度～2026年度の取り組み

- 利用率が比較的低い施設の空き時間を民間ノウハウを活かし有効に活用する。
- 学校跡地や予定地、高架下、雨水調整池等を、スポーツ施設やスポーツ施設を併設した公園として活用する。
- 室内プール改修に伴う温浴施設整備の実施する。

その他の施設機能の再編後のイメージ例(案)

2・3面で紹介した以外の施設機能について、再編後のイメージ例を紹介します。



施設機能分類	再編後のイメージ例
集会施設	・複合化することで、より便利になり、他のサービスに触れる機会が生まれ、新たな交流や活動のきっかけになります。 ・活動や交流が活発になることで、健康増進や地域コミュニティの強化が図られます。
保育園・ 児童発達支援センター	・複合化し、他機能との連携や多世代の人々との交流が充実することで、更に魅力的で利便性の高い地域の子育て拠点になります。
学童保育クラブ	・学校が地域・民間・公共の活動拠点となることで、学童保育クラブも他機能との連携や多世代の人々との交流が充実する、魅力的で利便性の高い、児童の育成の場になります。
子どもセンター・ 子どもクラブ	・学校等が地域・民間・公共の活動拠点となることで、そこに複合化する子どもセンターが、他機能との連携や多世代の人々との交流が充実する、魅力的で利便性の高い子どもの遊び場や居場所・乳幼児の子育ての場になります。
高齢者福祉施設	・ソフト化を図ることで、より多くの場所でサービスを展開し、より身近な場所でサービスを受けられる機会が増えます。 ・高齢者に限定した居場所ではなく、多様な世代・目的で集える場へ転換することで、人と人との交流やつながりが生まれます。
障がい福祉施設	・公共や民間の施設に関わらず、適切な支援を受けながら、誰もが社会の一員として、ともに育ち、働き、暮らしていくことができます。
生涯学習施設	・地域への事業展開により、これまで以上に身近な場所で生涯学習に触れることができます。 ・より多機能に活用することで、中心市街地の活動拠点になります。
保健施設	・健康福祉会館と保健所中町庁舎を集約することで、初期救急提供体制の検討等、医療と保健の連携強化が図られます。
文化ホール施設	・公共施設に限らず文化芸術に関連したネットワークをつくることで、地域との連携強化や町田発の文化芸術の育成が図られます。 ・民間ノウハウを効果的に取り入れることで、より経営的な管理運営を行うと同時に、より魅力的な付加サービスが提供されます。
美術館・博物館等	・市の文化・歴史資料の集約により、より魅力的な展示をすることができ、市への愛着の醸成、教育、生涯学習などに寄与します。 ・アウトリーチ展示によって、特定の施設だけではない場所で文化や歴史に触れる機会が増えます。 ・国際版画美術館及び(仮称)国際工芸美術館は、公園の空間や賑わいと一体となった文化・芸術活動の拠点となり、市内外から多くの人が集まります。
レクリエーション・ 観光施設	・民間活力の導入や更なる活用により、さらに満足度を高め、賑わいのある場になります。
産業系施設	・民間活力の導入により、多くの起業家や、若い世代が活躍する機会と場が創出されます。機能の見直しにより、収益増加が図られるとともに、賑わいや交流が創出されます。

※この他にも、本紙で紹介しきれない、9年間(2018年度～2026年度)の取組内容やそのスケジュールは市民意見募集の実施にあわせて3月20日(火)に町田市ホームページで紹介いたします。

取り組みに関するお知らせ

- 取り組みに関するお知らせは、町田市ホームページでご覧いただけます。
(トップページ>市政情報>行政経営に関すること>行政経営改革>公共施設マネジメントに関する取り組み)
- 「町田市公共施設再編計画」の策定に向けて市民説明会、ご意見募集を実施します。
- また、公開の会議である町田市公共施設再編計画策定検討委員会の傍聴も可能です。



市民説明会

- 開催場所・日程 ※すべての会場で同じ説明をいたします。

開催場所	日時
小山市民センター(1階ホール)	3/22(木) 18時半～20時半
市庁舎 おうえんルーム(2階)	3/23(金) 10時～12時
中相原会館(相原町2188相原十字路そば)	3/23(金) 18時半～20時半
玉川学園コミュニティセンター(2階ホール)	3/24(土) 10時～12時
なるせ駅前市民センター(第1会議室)	3/24(土) 14時～16時
木曾山崎コミュニティセンター(B館大会議室)	3/25(日) 10時～12時
鶴川市民センター(第2会議室)	3/25(日) 14時～16時
忠生市民センター(2階ホール)	3/26(月) 18時半～20時半
市庁舎 おうえんルーム(2階)	3/27(火) 10時～12時
南市民センター(2階ホール)	3/27(火) 18時半～20時半

- 内容 町田市公共施設再編計画(素案)について
- 申込不要(当日直接お越しください)
※駐車スペースの都合上、可能な限り公共交通機関をご利用ください。

市民意見募集

- 実施時期 3月20日(火)～4月20日(金)
- 記入内容 計画に対するご意見・性別・世代・お住まいの地区
- 提出様式 様式は任意です
- 提出場所
 - ・窓口への提出
 - 企画政策課(市庁舎4階)、各市民センター・連絡所、各コミュニティセンター、各市立図書館、町田市民文学館、生涯学習センター、市民フォーラム
 - ・FAX 050-3085-3082
 - ・Eメール mcity3270@city.machida.tokyo.jp



※意見募集に関する資料は、上記QRコード、町田市ホームページ、または提出場所でご覧いただけます。

検討委員会傍聴

- 実施予定 5月上旬予定
- 実施会場 市庁舎
※広報まちだ または町田市ホームページにてお知らせします。

まちテレ

- 放送内容 公共施設を取り巻く環境、町田市の取り組み、街頭インタビューなど
- 視聴方法 町田市ホームページにてご覧いただけます。

みんなのちからを合わせて、将来を見据え、次の世代にも引き継げる
公共施設・公共空間の“より良いかたち”
を実現しましょう



町田市公共施設マネジメント

検索